

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

| | | | |
|--|------------------------------------|---------|--------------|
| 事務事業名 | 【③教育の充実】 歴史はっけん事業 | | |
| 政策 | 地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興 | 担当課 | 文化振興課 |
| 施策① | 歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進 | 電話番号 | 0193-27-7567 |
| 施策② | 歴史・文化の継承 | ハード・ソフト | ソフト |
| 重点プロジェクト | 学びの多様性の実現に向けて | 新規・継続 | 継続 |
| 4つの柱 | 教育の充実 | 補助・単独 | 補助 |
| 事業期間 | 令和2年度～令和9年度 | | |
| 事業の概要 | | | |
| 釜石市に埋もれた歴史や文化財、食文化等（以下、歴史文化遺産）を発見又は再発見し、子どもから大人まで幅広く伝えとともに、まちづくりや交流人口の創出につなげるため、歴史文化遺産に関する調査や、講演会、デジタルコンテンツによる情報発信を実施する。また、「釜石市文化財保存活用地域計画」に関する協議会を開催し、本計画の進捗管理に努める。 | | | |

2. 現状・課題及び目的

| | |
|--|--|
| 現状・課題 | |
| 過疎化・少子高齢化などを背景に、歴史文化遺産の滅失や散逸等の防止が課題となっており、指定文化財はもちろんのこと、未指定文化財を含めた地域資産をまちづくりに生かしつつ、その継承に取り組む必要がある。 | |
| 目的 | |
| 釜石市の歴史文化遺産である歴史史料や文化財、食文化等を把握し、次世代に伝え継承するとともに、歴史文化遺産の保管場所の確保や記録保存の充実を図る。また、歴史文化遺産を活用した地域アイデンティティの醸成と交流人口の拡大を目指す。 | |

3. 主な活動及び事業費

| | | |
|--|---------|---------|
| 主な活動 | | |
| かまいし歴史文化プロモーションを通じた関係人口の創出を実施 (1) かまいし食文化はっけん事業①食文化座談会開催 ②食文化講演会開催 ③食文化プロモーション実施 (2) かまいし歴史文化活用プロジェクトの実施①かまいしの魅力再発見 ②かまいしの魅力発見講演会 ③かまいし歴史文化コンテンツ作成④かまいし歴史文化プロモーション総合 | | |
| 事業費 | | |
| R 7 | R 8 | R 9 |
| 6070 千円 | 6070 千円 | 6070 千円 |

4. 評価結果

| | | | |
|--|---------|-----|-----|
| 妥当性 | 有効性 | 効率性 | 公平性 |
| 適切 | 見直し余地あり | 適切 | 適切 |
| 評価結果 | | | |
| 釜石市に埋もれた歴史文化遺産を発見、再発見し、子どもから大人まで幅広く伝えと共に、まちづくりや交流人口の創出にも寄与できるような取組を実施されたい。 | | | |

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

| | | | |
|--|------------------------------------|---------|--------------|
| 事務事業名 | 【③教育の充実】 みんなで伝える郷土芸能体験事業 | | |
| 政策 | 地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興 | 担当課 | 文化振興課 |
| 施策① | 歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進 | 電話番号 | 0193-27-7567 |
| 施策② | 郷土芸能の伝承支援 | ハード・ソフト | ソフト |
| 重点プロジェクト | 学びの多様性の実現に向けて | 新規・継続 | 新規 |
| 4つの柱 | 教育の充実 | 補助・単独 | 補助 |
| 事業期間 | 令和7年度～令和9年度 | | |
| 事業の概要 | | | |
| <p>少子高齢化などによって郷土芸能活動の後継者不足が課題となっていることから、子どもたちに郷土芸能を実体験する多様な機会を提供することで、郷土芸能の継承、担い手の育成につなげるもの。また、郷土芸能の映像を記録保存し、伝承活動の一助とするもの。</p> | | | |

2. 現状・課題及び目的

| | |
|-------|--|
| 現状・課題 | 市内の郷土芸能団体は、少子高齢化等によって参加者が減少し、担い手不足に陥っている。 |
| 目的 | 子どもたちから郷土芸能活動に親しむ機会を提供することで、次世代の担い手を育成したい。 |

3. 主な活動及び事業費

| | | |
|---|---------|---------|
| 主な活動 | | |
| <p>○みんなで伝える郷土芸能トライアルの実施</p> <p>(1) 郷土芸能体験教室の開催：子どもから大人まで、郷土芸能に身近に触れる機会を創出する。</p> <p>(2) 郷土芸能等映像記録保存の実施：郷土芸能やまつりの映像記録保存を行い、末永く継承する仕組みづくりを行う。</p> | | |
| 事業費 | | |
| R 7 | R 8 | R 9 |
| 1200 千円 | 1200 千円 | 1200 千円 |

4. 評価結果

| | | | |
|---|---------|---------|-----|
| 妥当性 | 有効性 | 効率性 | 公平性 |
| 適切 | 見直し余地あり | 見直し余地あり | 適切 |
| 評価結果 | | | |
| <p>郷土芸能活動の後継者不足は深刻な問題であることから、関係団体と連携のうえ、郷土芸能の伝承、担い手育成につなげられるような取組を展開されたい。</p> | | | |

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

| | | | |
|---|------------------------------------|---------|---------|
| 事務事業名 | 【③教育の充実】 屋形貝塚保存活用事業 | | |
| 政策 | 地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興 | 担当課 | 文化振興課 |
| 施策① | 歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進 | 電話番号 | 27-7567 |
| 施策② | 埋蔵文化財の調査 | ハード・ソフト | ソフト |
| 重点プロジェクト | 学びの多様性の実現に向けて | 新規・継続 | 継続 |
| 4つの柱 | 教育の充実 | 補助・単独 | 補助 |
| 事業期間 | 令和4年度～令和7年度 | | |
| 事業の概要 | | | |
| 屋形遺跡は唐丹町大石地区に所在し、令和3年3月に国の史跡に指定された。史跡を長期的に整備・保存活用・周知等の各種施策を展開していくため、史跡整備計画等の策定に取り組むもの。また、範囲内要確認調査、遺跡見学会や発掘体験など史跡の調査及び周知活用事業を実施する。 | | | |

2. 現状・課題及び目的

| | |
|--|--|
| 現状・課題 | |
| 屋形遺跡が国史跡となったことから、その価値にふさわしい活用を見出す必要がある。史跡整備計画を策定することで、市民と遺跡の価値の共有を図りつつ、より活用しやすい史跡としての在り方を追求していくことが求められる。 | |
| 目的 | |
| 釜石市の歴史・文化視点の魅力を掘り起こし、唐丹町をはじめ市民への還元を目的とする。そのために郷土に誇りを持ち、交流人口の増加や地域の活性化を図る素材として、屋形遺跡が活用される状況を目指す。 | |

3. 主な活動及び事業費

| | | |
|--|------|------|
| 主な活動 | | |
| ①地域住民と有識者による史跡整備計画の策定を行う。②郷土資料館や市民ホールなどで周知活動を実施する。③学びの場としての体験学習や、生涯学習出前講座など通して地域への還元を行う。④史跡整備を行うため継続的な範囲内用確認調査を実施し、最新情報・詳細情報を発信していく。⑤史跡整備を進め、史跡範囲の土地について譲渡・購入を進めていく。 | | |
| 事業費 | | |
| R 7 | R 8 | R 9 |
| 7500 千円 | 0 千円 | 0 千円 |

4. 評価結果

| | | | |
|--|-----|-----|-----|
| 妥当性 | 有効性 | 効率性 | 公平性 |
| 適切 | 適切 | 適切 | 適切 |
| 評価結果 | | | |
| 屋形遺跡の保存・活用・整備等の方向性を市民に示すためにも史跡整備計画策定に向けた事業は引き続き実施すべきである。併せて、市民への周知促進を図るための取組についても検討されたい。 | | | |

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

| | | | |
|---|------------------------------------|---------|--------------|
| 事務事業名 | 【③教育の充実】 橋野高炉跡修復・公開活用事業 | | |
| 政策 | 地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興 | 担当課 | 文化振興課 |
| 施策① | 橋野鉄鉱山の保存・整備・活用の推進 | 電話番号 | 0193-22-7577 |
| 施策② | 橋野鉄鉱山の保存・整備・活用の推進 | ハード・ソフト | ハード |
| 重点プロジェクト | 学びの多様性の実現に向けて | 新規・継続 | 継続 |
| 4つの柱 | 教育の充実 | 補助・単独 | 補助 |
| 事業期間 | 令和4年度～令和8年度 | | |
| 事業の概要 | | | |
| 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山を適切に保存整備し、後世に残していくとともに、史跡に関する理解増進を図る必要があることから、平成30年「橋野鉄鉱山の保存・整備活用に関する計画」を策定した。平成31年度から二番高炉ブロックを対象に範囲内容確認調査、石垣修復、見学道の整備、遺構表示を実施することとしている。令和6年度から見学道の整備を行う。 | | | |

2. 現状・課題及び目的

| | |
|--|--|
| 現状・課題 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化で石垣等が崩落する恐れがある。 ・橋野高炉跡を見学しても当時の状況がわかりにくい。 ・どこが遺構かわからない。 | |
| 目的 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・橋野高炉跡を適切に保存・修復・整備し、後世に残していくとともに理解増進を図っていく。 ・明確な遺構の位置と用途の理解の増進を図る。 | |

3. 主な活動及び事業費

| | | |
|---|----------|------|
| 主な活動 | | |
| 橋野高炉跡の遺構の保護及び理解増進を図るため視覚的に理解しやすい遺構表示等を行う（今期は二番高炉ブロックが対象）。 | | |
| ①石垣の修復（水路石垣・平場石垣・長屋跡石垣） | | |
| ②遺構表示及び見学道の整備（範囲内容確認調査成果に基づく） | | |
| ③解説板等の設置 | | |
| 事業費 | | |
| R 7 | R 8 | R 9 |
| 30000 千円 | 11000 千円 | 0 千円 |

4. 評価結果

| | | | |
|---|-----|-----|-----|
| 妥当性 | 有効性 | 効率性 | 公平性 |
| 適切 | 適切 | 適切 | 適切 |
| 評価結果 | | | |
| 来訪者の安全性や満足度を高めることは世界遺産としての価値の向上、交流人口の拡大が期待できるため、実施が必要な事業だと判断される。令和7年度に迎える世界遺産10周年に向け、見学道の整備を行うことは市内全体の地域活性化や機運醸成につながることから、計画的に実施されたい。 | | | |

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

| | | | |
|---|------------------------------------|---------|---------|
| 事務事業名 | 【③教育の充実】 世界遺産登録10周年記念事業 | | |
| 政策 | 地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興 | 担当課 | 文化振興課 |
| 施策① | 橋野鉄鉱山の保存・整備・活用の推進 | 電話番号 | 27-7577 |
| 施策② | 近代製鉄の歴史・文化の発信と学びの充実 | ハード・ソフト | ソフト |
| 重点プロジェクト | 学びの多様性の実現に向けて | 新規・継続 | 新規 |
| 4つの柱 | 教育の充実 | 補助・単独 | 補助 |
| 事業期間 | 令和7年度～年度 | | |
| 事業の概要 | | | |
| 令和7年度に橋野鉄鉱山が構成資産となっている『明治日本の産業革命遺産』が世界遺産登録10周年を迎えることから再度橋野鉄鉱山の価値や史跡の魅力を広く周知し、保存・活用意識の高揚を図る。 R7 世界遺産シンポ+世界遺産マルシェの開催（その他：世界遺産まつりの誘致、鉄の週間の充実を図る。） | | | |

2. 現状・課題及び目的

| |
|---|
| 現状・課題 |
| 釜石の鉄の歴史は良きにつけ悪きにつけ現在の釜石のあり方に大きく影響している。その理解なしにまちづくりを行うことは釜石のアイデンティティーの欠如につながる。しかし、産業として製鉄業が縮小している中で一般市民にはなじみが薄くなっており、堅いあるいは難解というイメージが強い。 |
| 目的 |
| 多くの市民に釜石の歴史を身近に感じてもらい、市民一丸で周知・活用していけるようにする。市外の方に釜石の魅力を紹介し、釜石を活用してもらおう機運を創出する。 |

3. 主な活動及び事業費

| | | |
|---|------|------|
| 主な活動 | | |
| R7 世界遺産シンポ+世界遺産マルシェの開催（その他：世界遺産まつりの誘致、鉄の週間の充実を図る。） | | |
| R8 大島高任ゆかりの地域とのシンポの開催、絵本又は漫画を作成した周知（その他：市民劇場などとの連携、鉄の週間の充実を図る。） | | |
| R9 釜石鉱山発見300年シンポの開催（その他三陸ジオパークなどと連携、鉄の週間の充実を図る） | | |
| 事業費 | | |
| R 7 | R 8 | R 9 |
| 3000 千円 | 0 千円 | 0 千円 |

4. 評価結果

| | | | |
|-------------------------|-----|-----|-----|
| 妥当性 | 有効性 | 効率性 | 公平性 |
| 適切 | 適切 | 適切 | 適切 |
| 評価結果 | | | |
| 鉄の歴史への理解増進を図れるよう実施されたい。 | | | |

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

| | | | |
|--|------------------------------------|---------|--------------|
| 事務事業名 | 【③教育の充実】 鉄の歴史館改修事業 | | |
| 政策 | 地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興 | 担当課 | 文化振興課 |
| 施策① | 橋野鉄鉱山の保存・整備・活用の推進 | 電話番号 | 0193-27-7567 |
| 施策② | 世界遺産関連施設の適切な管理運営 | ハード・ソフト | ハード |
| 重点プロジェクト | 学びの多様性の実現に向けて | 新規・継続 | 継続 |
| 4つの柱 | 教育の充実 | 補助・単独 | 単独 |
| 事業期間 | 令和4年度～令和8年度 | | |
| 事業の概要 | | | |
| 鉄の歴史館は当市の製鉄や鉱山の歴史文化を学習する施設として、本館は昭和60年（築後38年）、新館は平成6年（築後29年）にオープンしている。両館とも経年劣化による老朽化があることから、来館者の安全で快適な施設見学を確保するため、計画的に施設改修を行うもの。 | | | |

2. 現状・課題及び目的

| | |
|--|--|
| 現状・課題 | |
| 施設の老朽化が進んでいることから、重大な故障や破損が発生する前に、適切な改修を行い来館者に安全で快適な施設環境を提供する必要がある。世界遺産登録後に、橋野鉄鉱山の発掘調査を進めたことにより、遺物が増加し整理及び保管場所が不足し、鉄の歴史館の見学場所を遺物等の保管場所としている状況にある。 | |
| 目的 | |
| 鉄の歴史館の改修により、来館者の安全で快適な施設環境を整え、橋野鉄鉱山、旧釜石鉱山事務所などの関連施設と連携をして鉄の歴史・文化を学ぶ機会の提供。 | |

3. 主な活動及び事業費

| | | |
|--|----------|------|
| 主な活動 | | |
| 【設計業務】 耐用年数が経過した建築・機械設備の比較検討設計業務 【建築工事】 耐用年数が経過した建築・機械設備の更新工事 | | |
| 事業費 | | |
| R 7 | R 8 | R 9 |
| 7590 千円 | 80000 千円 | 0 千円 |

4. 評価結果

| | | | |
|---|-----|-----|-----|
| 妥当性 | 有効性 | 効率性 | 公平性 |
| 適切 | 適切 | 適切 | 適切 |
| 評価結果 | | | |
| 釜石市の鉄の歴史を学習する代表的な施設であることから、計画的な修繕を実施されたい。 | | | |

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

| | | | |
|---|-------------------------------------|---------|--------------|
| 事務事業名 | 【③教育の充実】 橋野鉄鉱山インフォメーションセンター共通展示整備事業 | | |
| 政策 | 地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/歴史・文化・芸術文化の振興 | 担当課 | 文化振興課 |
| 施策① | 橋野鉄鉱山の保存・整備・活用の推進 | 電話番号 | 0193-22-8846 |
| 施策② | 世界遺産関連施設の適切な管理運営 | ハード・ソフト | ハード |
| 重点プロジェクト | 学びの多様性の実現に向けて | 新規・継続 | 継続 |
| 4つの柱 | 教育の充実 | 補助・単独 | 補助 |
| 事業期間 | 令和6年度～令和7年度 | | |
| 事業の概要 | | | |
| 橋野鉄鉱山インフォメーションセンターは、世界遺産登録前の平成25年11月に橋野鉄鉱山のビジターセンターとして開所した。橋野鉄鉱山及び明治日本の産業革命遺産の概要を映像や解説パネルで紹介している。ビジターセンターにユネスコ勧告に基づく23構成資産を紹介する共通展示（映像装置等）を新たに設置する。 | | | |

2. 現状・課題及び目的

| |
|--|
| 現状・課題 |
| <ul style="list-style-type: none"> 橋野鉄鉱山を見学しても当時の状況がわかりにくい。 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産としての「橋野鉄鉱山」の説明が不十分である。 構成資産全体が理解できない。 |
| 目的 |
| 来館者が「橋野鉄鉱山」の全容を理解できるとともに、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産全体が理解できる。 |

3. 主な活動及び事業費

| | | |
|--|------|------|
| 主な活動 | | |
| 「橋野鉄鉱山」及び世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の理解増進を図るため視覚的に理解しやすい展示を行うとともに、産業遺産情報センター及び各エリアのビジターセンターと連携した共通展示を行う。 | | |
| 事業費 | | |
| R 7 | R 8 | R 9 |
| 45909 千円 | 0 千円 | 0 千円 |

4. 評価結果

| | | | |
|---|-----|-----|-----|
| 妥当性 | 有効性 | 効率性 | 公平性 |
| 適切 | 適切 | 適切 | 適切 |
| 評価結果 | | | |
| ユネスコ勧告に基づいた各サイトの一体的な取組である。実施により交流人口の増加や地域アイデンティティの醸成が図れるよう実施されたい。 | | | |